

日本小児科学会広報紙

2000年9月1日号

すこやか通信

発行所: 社団法人 日本小児科学会 〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-5第1馬上市ビル4階 TEL.03(3818)0091
 発行人: 柳澤正義 / 編集制作: 株式会社 協和企画

今、わが国は空前の少子社会といわれております。1年間に生まれる赤ちゃんの数は約120万人で、この数は戦後最も多くの赤ちゃんが生まれた昭和20年代前半の約半数に過ぎません。一方、生まれた赤ちゃんが病気で亡くなることも少なくなり、乳児死亡率(赤ちゃん1000人当たり生後1年間に死亡する率)は、ここ10年以上にわたって世界で最も低い状態が続いて

います。乳児死亡率はその国の社会、経済、保健、福祉などの水準をよく反映するといわれており、わが国の平均寿命が世界一であることにも大きく貢献しています。世界の国々、特に発展上の国々と比べると、日本は非常に恵まれた状態にあるといつてよいでしょう。しかし、その一方で、現代社会は子ども

を育てるうえでの障害が非常に多い社会でもあります。子どもたちをとり巻く環境にさまざまな問題があることは明らかであり、日頃の子育てに不安や困難を感じているご両親も多いことと思われまします。その最も不幸な事態として、親が子どもに暴行を加えたり、育児を放棄したりする「子どもへの虐待」がわが国でも増加してきています。これからは、社会全体が子育てについて一層の支援をしていくような体制を作っていく必要があります。小児科医も子どもたちの病気を診断し、治療するだけでなく、子育て支援に大きな役割を担おうと考えております。現代社会はマスメディアを通じてさまざまな情報が氾濫しており、育児に関する情報も例外ではありません。お母さん、お父さんの頭の中でも時として混乱を巻き起こしているのではないのでしょうか。かかりつけの小児科医にはお子さんの健康に関することだけでなく、子育てにかかわるといっても気軽に相談していただきたいと思



創刊によせて

社団法人 日本小児科学会 会長 柳澤 正義



います。子どもたちの心と体のすこやかな成長、発達には誰もが心から願っていることですが、そのために解決すべき課題はたくさんあります。私たち小児科医、また日本小児科学会は、そのような課題の解決に努力を傾けたいと考えております。それには、お母さん、お父さん方との意思の疎通と信頼関係が何より重要です。この「すこやか通信」が子どもたちの健康や子育て支援についての情報をお伝えし、また、ご両親と小児科医との対話の場として大いに活用され、発展していくことを願っております。



柳澤 正義
 現在、国立大塚病院院長。1964年東京大学医学部卒、1969年東京大学大学院医学系研究科修了。これまで自治医科大学小児科教授、東京大学医学部小児科教授を歴任。